

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール

今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性有り。

主要な審査項目	審査状況	審査会合 実績回数 ^{※1}	審査会合 至近実績	準備状況 (%) ^{※2}	平成29年												平成30年												備考																								
					10月						11月						12月						1月							2月						3月						4月						5月					
					2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12		19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28													
地震・津波	地質	・敷地の地質・地質構造 ・敷地周辺の地質・地質構造	(概ね審議済)	6回																																																	
	地震動	・地下構造	(概ね審議済)	2回																																																	
		・震源を特定して策定する地震動	(概ね審議済)	7回																																																	
		・震源を特定せず策定する地震動	(概ね審議済)	2回																																																	
		・基準地震動	(概ね審議済)	2回																																																	
	津波	・基準地震動の年超過確率の参照	1回	H30.1.12	100																																																
		・3.11型地震による津波	(概ね審議済)	4回																																																	
		・3.11型地震以外による津波	(概ね審議済)	2回																																																	
		・基準津波	(概ね審議済)	1回																																																	
		・津波評価について(基準津波の年超過確率の参照、砂移動評価)	(概ね審議済)	3回																																※耐震⑤1.4構造物評価 (=耐津波 2防浪堤の構造成立性)																	
	地盤・斜面の安定性(第3条)	0回	—	100																															※43条 保管アクセス																		
	火山事象	(概ね審議済)	3回																																																		
プラント	耐震設計方針(第4.39条) ※第3.38条の設備の地盤への対処も含む		(別紙1参照)	8回	H30.2.20	(別紙1参照)																																															
	耐津波設計方針(第5.40条)		(別紙2参照)	3回	H30.2.13	(別紙2参照)																																															
	外部事象 (第6条)	・電巻に対する設計方針	4回	H28.12.19																															関連:その他自然現象(6条)																		
		論点 電巻防護ネットの構造及び耐震評価	0回	—	90																														関連:耐震設計方針(4条)、内部火災(8条)																		
		・火山に対する設計方針	0回	—	90																															関連:その他自然現象(6条) 火山灰によるバグフィルタの閉塞試験の実施のため																	
		・外部火災に対する設計方針	3回	H27.3.19	100																																																
		・その他自然現象等に対する設計方針	2回	H28.12.19	100																																																
	内部火災 (第8条)、SA設備火災(第41条)	内部火災(第8条)、SA設備火災(第41条)	6回	H30.2.27																															特定化学物質予防規則改正による耐火材料変更に伴う試験実施のため																		
		論点 中央制御室床下ケーブルピットの分離対策について	1回	H29.11.14	95																																																
		論点 原子炉格納容器内火災防護対策について	1回	H29.11.14																																																	
		単一火災発生時の安全停止機能維持について	1回	H29.12.19																																																	
	内部温水(第9条)	3回	H27.8.4	90																															関連:内部火災(8条) 新SeによるSFPスロッシングの温水量再評価のため																		
	安全施設等																																																				
	DB	・不法な侵入(第7条)	0回	—	100																																																
		・損操作の防止(第10条)	2回	H27.8.2	100																																																
		・安全避難通路(第11条)	2回	H27.8.2	100																																																
		・安全施設(第12条)	3回	H27.4.21	90																																																
		・全交流電源喪失(第14条)	0回	—	100																																																
・使用済燃料プール(第16条、23条)		0回	—	100																																																	
・原子炉冷却材バウンダリ(第17条)		1回	H27.2.24	100																																																	
・安全保護回路(第24条)		2回	H27.8.2	100																																																	
・原子炉制御室(第26条)		(SA例、59条で ご説明)																																																			
・監視設備(第31条)		(SA例、60条で ご説明)																																																			
・保安電源(第33条)		0回	—	100																																																	
・緊急時対策所(第34条)		(SA例、61条で ご説明)																																																			
・通信連絡設備(第35条)		(SA例、62条で ご説明)																																																			

【凡例】

- (黄塗) : 審査会合を実施中の項目
- (白) : これまで審査会合を実施していない項目
- (赤枠) : クリティカルパスとなる項目
- ☆ : 審査会合希望時期
- ▼ : 追って資料提出時期

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール (耐震関係)

標準状況 (%) ^{※1}	平成29年												平成30年												備考							
	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月										
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	
耐震設計方針 (第4. 39条)																			【凡例】													
① 基準適合 (共通)																			■ 審査会を実施中の項目													
1 第4条:地震による損傷の防止																			■ これまで審査会を実施していない項目													
1 本文																			□ クラウドカルパスとなる項目													
2 設計用地震力																			○ 審査会未定項目													
3 動的機能維持の評価																			▽ : 送付資料提出時期													
4 弾性設計用地震動Sd静的地震力による評価																			☆													
5 上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討																			▽													
6 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針																			☆													
7 屋外重要土木構造物の耐震評価における耐震選定の考え方																			☆													
2 第39条:地震による損傷の防止																			☆													
1 本文																			☆													
2 重大事故等対応施設の評価分類																			☆													
3 設計用地震力																			☆													
4 重大事故等対応施設の基本構造等に基づく既性の耐震評価法の適用性と評価方針																			☆													
5 重大事故等対応施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せ																			☆													
② 観点「既工図との差異(建築物・構築物)」																			☆													
1 東北地方太平洋沖地震等による影響を踏まえた建築耐震設計方法への反映																			☆													
1 初期剛性低下の傾向と要因分析																			☆													
2 初期剛性低下の要因を踏まえた地震応答解析モデルの策定																			☆													
3 設備への影響検討																			☆													
4 設計体系に反映すべき事項																			☆													
2 建築地震応答解析における入力地震動の算定																			☆													
3 弾塑性解析の適用																			☆													
1 応力解析モデル(建築物・構築物)への弾塑性解析の適用																			☆													
2 原子炉建屋屋根トラスの解析モデルへの弾塑性解析の適用																			☆													
③ 観点「既工図との差異(屋外重要土木構築物)」																			☆													
1 解析手法の精緻化																			☆													
1 時刻応答解析の適用																			☆													
2 境界状態設計法の適用																			☆													
2 解析モデルの精緻化																			☆													
1 3次元非線形モデルの適用																			☆													
3 後施工せん断補強工法の適用																			☆													
④ 観点「既工図との差異(機器・配管)」																			☆													
1 原子炉本体の基礎の覆元力特性の変更																			☆													
2 使用評価料許容ラックの減震定数の変更																			☆													
3 機器・配管系設置に関するその他手法の相違点																			☆													
1 サプレッションチェン(内排水質量の考え方や変更)																			☆													
2 原子炉建屋クレーンへの非線形時刻応答解析の適用																			☆													
3 燃料交換機への非線形時刻応答解析の適用																			☆													
4 海水ポンプ室門型クレーンへの非線形時刻応答解析の適用																			☆													
5 電機防護ネットへのゴム支束の適用																			☆													
6 立形ポンプの解析モデルの精緻化																			☆													
7 最新知見として得られた減震定数の適用																			☆													
8 水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根(SRS法)による組合せ																			☆													
9 鉛直方向応答解析モデルの追加																			☆													
4 機器・配管系設置の既工図からの構造変更																			☆													
⑤ 地震の浸透化																			☆													
1 地震の浸透化																			☆													
1 浸透化評価の基本方針																			☆													
2 浸透化強度試験とその代表性評価																			☆													
3 浸透化強度特性の設定とその保守性評価																			☆													
4 構造物評価(有効応力解析)																			☆													

※1 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール (耐津波関係)

別紙2

平成30年2月27日
東北電力株式会社

準備状況 (%) ^{※1}	平成29年																								平成30年																								備考
	10月						11月						12月						1月						2月						3月						4月						5月						
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28														
耐津波設計方針(第5.40条)																																																	
① 基準適合(共通)																																																	
I. はじめに	90%																																									☆							
II. 耐津波設計方針について																																																	
1 基本事項																																																	
1 津波防護対象の選定	90%																																									☆							
2 敷地及び敷地周辺における地形及び施設の配置等	90%																																									☆							
3 基準津波による敷地周辺の遡上・浸水域	70%																																									☆							
4 入力津波の設定	70%																																									☆							
5 水位変動・地殻変動の評価	90%																																									☆							
6 設計または評価に用いる入力津波	70%																																									☆							
2 設計基準対象施設の津波防護方針																																									※附属⑤:1~3地盤の液状化								
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																									☆							
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	80%																																									☆							
3 漏水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	80%																																									☆							
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																									☆							
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																									☆							
6 津波監視	95%																																									☆							
7 津波影響軽減施設	70%																																									☆							
3 重大事故等対応施設の津波防護方針																																																	
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																									☆							
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	70%																																									☆							
3 漏水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	70%																																									☆							
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																									☆							
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																									☆							
6 津波監視	90%																																									☆							
4 施設・設備の設計・評価の方針及び条件																																																	
1 津波防護施設の設計	70%																																									☆							
2 浸水防止設備の設計	80%																																									☆							
3 津波監視設備の設計	95%																																									☆							
4 施設・設備等の設計・評価に係る検討事項	80%																																									☆							
② 論点「防溺域の構造成立性」																																																	
1 防溺域の構造成立性																																																	
1 設計方針	90%																																									☆							
2 構造成立性	70%																																									☆							
③ 論点「取放水路からの流入防止」																																																	
1 取放水路からの流入防止																																																	
1 設計方針	80%																																									☆							
2 構造成立性	70%																																									☆							

【凡例】

- : 審査会を実施中の項目
- : これまで審査会を実施していない項目
- (赤枠) : クリティカルパスとなる項目
- ☆ : 審査会希望時期
- ▼ : 追需資料提出時期

※1 実施中の評価。先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定